

尾瀬高校同窓会報

H.31.3.1

37



編集発行人 井上隆至

群馬県沼田市利根町平川1406
群馬県立尾瀬高等学校同窓会
☎378-0301 ☎0278(56)2310印刷所
コトブキ印刷

同窓会報発刊にあたり

同窓会長 井上隆至



同窓会報第37号の発刊にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝の事と推察し心よりお慶びを申し上げます。併せて、常日頃から同窓会活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

本校では、今年3月の卒業生51名を含め5,427名が卒業されました。卒業生全員が同窓会に入会されており、会員の皆様が各々の道で社会にご貢献されていますことを大変喜ばしく思っております。同窓会は、これからも在校生の為に少しでも役立つ活動を進めて行きたいと考えておりますので会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年は、天皇陛下が4月30日に譲位され、皇太子さまが翌日新天皇に即位されます。元号も平成から新元号に変わり、新しい時代を迎える事となります。

平成の30年を振り返りますと、・元年4月消費税(3%)導入・4年9月毛利衛さん宇宙へ(日本人2人目)、・7年1月阪神淡路大震災、・7年3月地下鉄サリン事件・10年2月長野冬季オリンピック開催・14年5月サッカー日韓W杯開催・17年3月愛知万博開幕・22年6月小惑星探査機「はやぶさ」が宇宙より帰還・23年3月東日本大震災発生・23年7月なでしこジャパンサッカー女子W杯優勝・24年5月東京スカイツリー開業、等々大きな出来事を沢山思い出します。

また、身近なスマートフォンやAI(人工知能)に見られるように産業技術の進歩が著しく、私達の生活も大きく変わった30年間のようになります。

新しい時代は、本年9月に日本で初めて開催されるラグビーW杯や来年7月に開催される2020東京オリンピック等で、日本中が大変盛り上がる中スタートします。

平和が続き、明るいニュースが多い新しい時代と

なる事を願っています。

おわりに、会員皆様の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。と共に会報発刊にあたりご尽力を賜りました皆様に御礼を申し上げます。

人と自然と地域と共に

校長 小林由隆



同窓生の皆様には、平素より本校教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。今年度も「人と自然と地域と共に」を合い言葉に、自然豊かなこの地を舞台に多くの方々(地域の方、同窓生)とふれあいながら生徒達を育成してきました。その取組は、ホームページにて日々紹介しています。是非ご覧下さい。

今年度は、4月の開校記念式典において昭和49年卒で白沢町出身の羽鳥信之さんに群馬県警察に長らく勤務された経験に基づき、講演をしていただきました。アフリカの日本公館に勤務されたこと、県警刑事本部長として活躍されたことなど、本校生徒にとって大きな夢と希望を与えてくれるお話をしていただきました。また7月の同窓会総会では、会議後に在校生との交流を兼ねてバーベキュー大会を開催いただき、50名を超える生徒、20名を超える幅広い世代の同窓生が参加し、多くの同窓生に支えられている事を生徒達も実感できました。尚、今年の4月には平成14年卒で、地元利根町の活性化に尽力されているグリーンパーク吹割の経営者小林勉さんにご講演を依頼しました。是非お誘い合わせの上ご参加下さい。

今年度施設設備面において、エレベーターの設置、校舎内外のバリアフリー化、体育館の床の改修、安全面での野球バックネットの撤去、三年計画で行っていた各学年教室のエアコン設置を行いました。生徒達の安全かつ快適な環境作りをこれからも心がけ

ます。

在校生の活動では、特筆すべきものとして地元片品村の要請を受け行った大清水湿原の水芭蕉復元作業があります。このことを含めこれまで23年間の地域への貢献・協働の活動が高く評価され、1月県教育長より自然環境科が優秀組織として表彰されました。また自然環境科は、2月に環境省と協定を結び、各種の支援を受けたり、事業への参加協力をを行うこととなりました。

国際交流活動では、台湾(5月、12月)、中国(12月)、ベトナム(2月)の高校生、オーストラリアの教職員(2月)、JICAによる中南米の青年研修生(9月)が本校を訪問し、生徒達と交流しました。熱烈的な歓迎に感謝し、日本、尾瀬高校の良さを実感していただきました。

部活動では6月の関東大会で弓道部女子が団体3位、8月のインターハイにおいても女子個人競技に出場、続いて11月の東日本大会県予選では、女子団体3位、男子団体7位と男女とも活躍し、3月の高崎で行われる本大会にアベック出場します。スキー部は1月関東大会に4人全員が出場、県総体にてクロスカントリー男子個人クラシカルで優勝しました。今後の全国での活躍を期待下さい。理科部は群馬県理科研究発表会、日本学生科学賞群馬県審査にて優秀賞を受賞しました。同窓会の皆様からの激励の横断幕や備品の整備など、多大なるご支援をいただいている成果と、この場を借りて感謝申し上げます。

今年度末の51名を加え、卒業生が5,427名となりました。現在は普通科、自然環境科各32名の定員と以前と比べ、大変少人数ですが小さいからこそ一人一人に目が行き届き、輝くことの出来る指導を行っております。前述の通り、生徒達は伸び伸び、生き生きと活動し、尾瀬高校に、この地域に自信と愛着を持って活動しています。是非母校のこれからの活躍に注目下さい。

最後になりますが、井上同窓会長をはじめとする同窓会本部役員の方々には、深甚なるお力添えをいただき誠にありがとうございました。引き続きご助言ご声援をいただければ幸いです。

高校時代を振り返って

平成28年度卒業生 湯 浅 星乃花

私が高校を卒業して早2年が経ちました。高校時代を振り返るとつい最近のように感じます。私は地元に残り就職し、社会人になりました。今働いているところに就職できたのも担任の先生や学年を受け持っていた先生方の協力をいただいたからだと思います。

私は利根中から連携校として尾瀬高校に入学しました。家から近いということもありましたが、少人数ということで過ごしやすい学校生活が送れると思います、入学しました。最初は変わった環境に慣れなくて教室にいるのが辛いときもありました。ですが、当時の先生方が親身になって悩みを聞いてくれて、この学校に入学してよかったと感じました。

高校生活での一番の思い出は修学旅行です。沖縄での戦争の悲惨さや、文化の違いに触れることができた、群馬では体験することができないシュノーケリングなどたくさんの思い出が出来ました。

勉強面では、2年生から経営情報コースで商業科目について学びました。このコースではエクセルや早打ち、簿記などの資格を取得できるコースです。私は高校生活で3つほどの資格を取得し、今後の進路に役立つよう頑張りました。尾瀬高校は他の学校と比べると生徒の人数が少ないので先生方がひとりひとりに親身になって教えてくれるので勉強をする環境はよかったなと思います。

部活動では、中学から続けていたソフトテニス部と授業以外も商業の勉強がしたいと思い商業研究同好会に入部しました。ソフトテニスでは中学時代の友だちとペアを組み、多くの大会に出場しました。いくつかの大会に出場し、勝利した回数は多くなかったですが、とても優しい先輩方や後輩、指導してくれた顧問の先生、一緒に苦難を乗り越えた友だちなど多くの人たちとの絆が深まったような気がします。また秋に毎年行われている高崎経済大学主催の販売甲子園にソフトテニス部として出場させてもらいました。2年連続で出場し、街の活性化や物を製造販売する難しさなど多くのことを学ぶことができました。

そして私は親や先生の勧めで2年間生徒会役員を務めました。2年とも書記を務め、学校をよりよい学校にしていこうと活動してきました。中学時代も



生徒会をやっていたので、また高校でも学校について活動できたのでよかったです。生徒会の主な活動は朝の挨拶運動やスローガンを決めることなどです。学校について考えるのは大変だったけれど、もう経験することのできない活動だったので、生徒会に入ってよかったと感じました。

このように高校時代を振り返るとたくさんの思い出がよみがえってきます。私はたまたま仕事の関係で尾瀬高校に行くときがあるのですが、2年たっても私がいた当時と変わらない雰囲気です。今、目標や夢に頑張っている尾瀬高生を見ると私もこうだったのかなと高校生活を振り返るきっかけを作ってくれます。人生に一度しかない高校生活を尾瀬高校で過ごせたことは私にとって大きな財産です。3年間共にしたクラスメイト、先生方お世話になりました。

高校時代を振り返って

平成26年度卒業生 金子陽祐

高校生の頃、夢に見ていた大学生活が終わり、私は今、社会に出ようとしています。尾瀬高校、そして利根片品地域で過ごすことのできた3年間は、今も私の記憶に色濃く残っています。神奈川の実家を離れ、まだまだ未熟であった私は、ホスト先のおばさんやおじさん、先生方に迷惑や心配をかけることも少なくありませんでした。また、村民運動会や神輿に参加させて頂いたことなど、地域の方々にもお世話になる機会は多かったと思います。改めて、この場を借りて感謝を申し上げます。また、尾瀬高校を卒業した一人として、今回このような形で関わられることを嬉しく思います。

私はハートフルホーム・システムを利用して自然環境科に入りました。そして、理科部とG-n-e-cクラブに所属し、本当に多くの経験を積ませて頂いたと思っています。尾瀬高校に志願した理由は叶えたい夢のためでした。小さい頃から生き物への関心があり、自然から受け取ることのできる感動を提供できる人材になることを夢に描いていました。そのため、自然環境に関する専門的で実践的な学習を受けられる高校があると知った時は本当に嬉しく思いました。また、毎月第三土曜日に実施しているネイチャークラブに通い、そこで接してくれた先輩方の

堂々とした姿がとても印象に残り、憧れを抱いて尾瀬高校への進学を決意したことを覚えています。

高校生活を振り返ってみると様々な情景が頭に浮かびます。列を成して歩いた尾瀬ヶ原や藪をこいで調査した武尊山、日々活動をした自然環境棟、そして賑やかな校舎、もちろん楽しい思い出だけではありませんが、充実した日々を送っていたと思います。部活や授業などで毎週のようにイベントがあり、色々な場所に連れて頂きました。自然観察会、調査、研究発表、シンポジウム、なかでも全国高校生自然環境サミットでは沖縄に行き、また米国派遣事業では卒業生のお宅に短期間、ホームステイさせていただきました。実際に体験してみることの重要性は、高校時代に得た大きな学びの一つであります。そして、自分たちで出したアイデアを調査やイベントの運営等で実践できる環境と機会があったことで、学びをさらに深めることができました。

尾瀬高校は生徒も先生方も非常に個性が豊かであったように思います。先生方は身近に感じられ、教科以外にも一人の人としての考え方を教えてくれていたと思います。また、生徒は自分と生まれが違う人ばかりであったので、今まで触れることのない文化や自然環境を学ぶ同士として意見を交わし合うことができました。時には意見が食い違い、言い合いになることも、部活の問題を解決するために話し合うも少なくありませんでした。しかし、そういう機会があったからこそ気づけたこともあります。

人は必要な時に必要な人と出会うという話を聞いたことがあります。この土地に来なければ出会えなかった友人、先生方、そしてホストファミリーのみなさんと接し、支えられた3年間は自分の中でかけがえのないものです。もし自分が尾瀬高校に通っていなかったら、どのような道歩んでいたのか見当もつきません。それだけ尾瀬高校の3年間は私にとって大きいものです。私が今も昔と変わらない夢を追い続けられていることもなかったかもしれません。

これから先も尾瀬高校で学ぶ生徒が様々な思いを抱き、悩み、次の道へ踏み出して行くと思います。尾瀬高校は挑戦のできる場所です。ぜひ、多くの経験を積み、自分の殻を1枚も2枚も破って欲しいです。

最後に尾瀬高校を支えて下さる皆様に感謝の意を表し、締めさせていただきます。

平成30年度 事業報告

年 月 日	行 事
30. 7. 21	同窓会総会および交流会
31. 1. 25	同窓会・PTA・活性化委員会・ 合同新年会 於 民宿みやま
31. 3. 1	同窓会報発刊

同 窓 会 会 則

第 1 章 総 則

- 第1条 本会は群馬県立尾瀬高等学校同窓会と称する。事務局は同校内に置く。
- 第2条 本会は会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために下の事業を行う。
- 1 母校発展に寄与する事項
 - 2 会員親睦に関する事項
 - 3 その他必要と認める事項
- 第4条 本会会員は、転居その他一身上の都合で異動したとき本会に報告する。

第 2 章 会 員

- 第5条 本会会員は、県立沼田高等学校武尊分校卒業生、県立武尊高等学校卒業生及び県立尾瀬高等学校卒業生をもって組織する。
- 第6条 本校現在の職員は、特別会員となる。但し、退職後会長の特別推薦により特別会員となることができる。
- 第7条 本校の会員たる本分を失ったときは、役員協議のうえ除名することができる。

第 3 章 役員及び会員

- 第8条 本会は下の役員を置く。任期は3年とし、再選を妨げない。
- 1 会 長 1名
 - 2 副会長 4名
 - 3 書 記 2名
 - 4 会 計 2名
 - 5 支部長・副支部長（各支部別、1名ずつ）
 - 6 期別幹事（卒業年度別若干名）

- 7 監 査 2名
- 8 校内幹事（若干名）
- 9 顧 問

第9条 会長は本会を代表し会務を総理する。副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその任を代行する。支部長・副支部長は各支部より選び、合議において会務にあたる。期別幹事は卒業年度別を選び、会務にあたる。監査は会計を監査し、総会において報告する。校内幹事は母校教職員より選び、会務を処理する。顧問は会長の諮問に答えるものとする。各役員は会長がこれを委嘱する。

第10条 毎年1回総会を開くものとする。

第 4 章 会 計

- 第11条 本会の経費は、会員の会費及びその他の収入を以てする。
- 第12条 本会の入会金は7,400円とし、卒業時に納入するものとする。
- 第13条 本会の永年会費は5,500円を納入し、蓄積して本会基本金とする。
- 第14条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

附 則

- 第15条 本会則に定めなき事項については、役員会の決により会長の承認を以て定める。
- 第16条 慶弔については、別途定める。
- 第17条 本会則は昭和43年9月5日より実施する。

- 昭和50年 4月より入会金1,000円に改正
- 昭和53年 4月より会費（年額）1,440円に改正
- 昭和54年 6月20日会則一部改正
- 昭和62年 6月14日会則一部改正
- 平成元年 6月10日会則一部改正
- 平成6年 5月25日会則一部改正
- 平成8年 5月21日会則一部改正
- 平成9年 6月17日会則一部改正、第12条は平成12年度より適用する。
- 平成16年 6月22日会則一部改正

平成30年度 部活動・検定等報告

部/同好会/検定	大会名 & 結果		
野 球	春季大会 1回戦 1-6 利根商業	夏季大会 1回戦 1-11 高崎	秋季大会 1回戦 4-14 館林
ス キ ー	第85回群馬県スキー選手権大会 クロスカントリー 男子15kmフリー 優勝 鍋木 光 アルペン 男子スラローム 5位 星野 墨飛	県高校総体スキー大会 クロスカントリー 男子9kmフリー 2位 鍋木 光 クロスカントリー 男子9kmクラシカル 優勝 鍋木 光 アルペン ジャイアントスラローム 6位 星野 墨飛 10位 星野 巨鷹 12位 佐々木 綾斗 アルペン スラローム 3位 星野 墨飛 5位 星野 巨鷹 男子学校対抗 第3位	第54回関東高校スキー大会 クロスカントリー 男子10kmクラシカル 優勝 鍋木 光 クロスカントリー 男子10kmフリー 優勝 鍋木 光 アルペン 男子スラローム 7位 星野 墨飛 33位 星野 巨鷹 98位 佐々木 綾斗 アルペン 男子ジャイアントスラローム 21位 星野 墨飛 59位 星野 巨鷹 男子学校対抗 3位
	県民体育大会Ⅱ部スキー競技会兼第74回国民体育大会冬季大会スキー競技会群馬大会 クロスカントリー 少年男子の部 優勝 鍋木 光	群馬県国体予選 クロスカントリー 男子10kmクラシカル 優勝 鍋木 光 アルペン ジャイアントスラローム 5位 星野 墨飛 11位 星野 巨鷹 12位 佐々木 綾斗	
ソフトテニス (男子)	高校総体 2回戦 0-3 桐生商業	インターハイ予選 2回戦 0-3 吾妻中央 夏季大会 2回戦 0-3 高崎工業	新人大会 2回戦 0-3 高崎
ソフトテニス (女子)	高校総体 1回戦 1-1 渋川青翠 (ペア数で敗退)		
サッカー	高校総体 1回戦 0-21 中央中等		
バレーボール	高校総体 1回戦 0-2 吾妻中央 インターハイ予選 1回戦 1-2 中央中等	北毛地区大会 1回戦 2-0 嬌恋 2回戦 0-2 利根実業 春高バレー県予選 1回戦 0-2 富岡	新人大会 1回戦 0-2 桐生女子
バスケットボール	高校総体 1回戦 12-105 高経附 インターハイ予選 1回戦 45-135 健大高崎	WINTERCUP県1次予選 1回戦 24-136 中央中等 北毛地区大会 (男子) 1回戦 44-94 長野原 決定戦 31-121 中之条	新人戦 1回戦 13-154 商大附
卓 球	高校総体 団体 1回戦 3-0 渋川女子 2回戦 0-3 樹徳	インターハイ予選 団体 1回戦 3-1 興陽 2回戦 0-3 沼田女子 強化大会 ダブルス 倉田瑠美・倉田瑛美 ベスト32	新人戦 団体 1回戦 3-1 農大二高 2回戦 0-3 沼田女子
弓 道 (男子)	県春季大会 団体 第3位入賞 個人 準優勝 星野伊吹 高校総体 団体ベスト16 インターハイ予選 団体 予選敗退 個人 ベスト8 星野伊吹	関東個人選手権県予選 個人 準優勝 星野伊吹 (関東個人選手権群馬県代表) 関東個人選手権 (東京都) 出場 星野伊吹 茂左衛門地蔵尊奉納弓道大会 準優勝 星野伊吹	北毛地区大会 団体 準優勝 個人 第5位 山崎南乃 新人大会 団体 予選敗退 東日本大会県予選 団体 第7位入賞 (東日本大会群馬県代表)

弓道 (女子)	<p>県春季大会 団体 ベスト8 高校総体 団体 準優勝(関東大会群馬県代表) 関東大会(千葉県) 団体 第3位入賞 インターハイ県予選 団体 予選敗退 個人 準優勝 福井藍月 (インターハイ群馬県代表)</p>	<p>関東個人選手権県予選 優 勝 福井 藍月 第3位入賞 河内 あゆ 第5位入賞 武井由里菜 第12位入賞 太田 舞 (関東個人選手権群馬県代表4名) 全国インターハイ(静岡県) 個人の部 準決勝敗退 福井藍月 関東個人選手権(東京都) 決勝進出 武井由里菜</p>	<p>茂左衛門地蔵尊奉納弓道大会 優 勝 河内 あゆ 第5位入賞 福井 藍月 北毛地区大会 団体 予選敗退 新人大会 団体 準優勝 東日本県予選 団体 第3位入賞 (東日本大会群馬県代表)</p>
理 科	<p>第66回群馬県理科研究発表会 高等学校の部(化学) 自然科学専門部会長賞 豆腐における凝固剤成分の探究 高等学校の部(ポスター部門) 自然科学専門部会長賞 尾瀬ヶ原植生調査2018 高等学校の部(生物・コンペディション部門) 優秀賞 尾瀬国立公園大清水湿原の復元に向けて2018 尾瀬ヶ原におけるニホンジカ調査2018 高等学校の部(ポスター部門) 優秀賞 武尊山に生息する地表徘徊性甲虫の調査研究 武尊山を中心とした野鳥調査 第59回植物生理学会大会 高校生生物研究発表会 優秀賞 尾瀬国立公園大清水湿原復元に向けて 日本気象学会 ジュニアセッション2018 大気や周辺環境条件による水質汚染状況の調査 日本鳥学会 2018年度大会 高校生ポスター発表 尾瀬高校で行った野鳥観察や野鳥調査の全記録 第62回日本学生科学賞群馬県審査 優秀賞 尾瀬ヶ原植生調査2018 第4回全国ユース環境活動発表大会 関東地方大会 優秀賞 尾瀬ニホンジカ調査 ～自然との共生を考える～ 高校生ボランティア・アワード2018 尾瀬国立公園大清水湿原復元に向けて</p>		
吹 奏 楽	<p>第60回群馬県吹奏楽コンクール 高校Bの部 銅賞 柳波まつり街かどコンサート 利根信用金庫祭り 武尊山レンゲツツジまつり ごったくまつり 利根沼田地区五校祭 北毛地区吹奏楽祭 芸能祭 尾瀬市場感謝祭 (その他年間約40回の演奏活動を実施)</p>		
商 研	<p>群馬県高等学校商業競技大会電卓競技 団体4位 第11回熱血!高校生販売甲子園 出場</p>		
茶華道部	<p>桜花苑でのお呈茶会 夏祭り 茶道裏千家学校茶道連絡協議会群馬県支部 親睦茶会 片品村収穫祭 出店 農産物 かたしなやでのお茶会</p>		
英 検	<p>2級(1名) / 準2級(2名) / 3級(2名) ※30年度第1回、第2回結果</p>		
漢 検	<p>準2級(3名) / 3級(4名) ※30年度第1回、第2回結果</p>		
商 検	<p>全商珠算電卓実務検定1級(18名) / 全商ビジネス文書実務検定1級(3名) 全商情報処理検定1級 ビジネス情報部門(1名) / プログラミング部門(1名)</p>		
家庭科検定	<p>第48回全国高等学校家庭科食物調理技術検定4級(48名) / 3級(14名) 第47回全国高等学校家庭科被服製作技術検定4級(42名) 第35回全国高等学校家庭科保育技術検定4級(3名) 第36回全国高等学校家庭科保育技術検定4級(2名) 第36回全国高等学校家庭科保育技術検定3級(3名)</p>		
JRC	<p>沼田高校による手話講座 利根沼田地区青少年赤十字トレーニングセンター「リラクゼーション・ハンドマッサージ講習会」 歳末たすけあい募金街頭募金運動</p>		
家庭クラブ	<p>エコキャップの回収 クラブ員功労者表彰 3-1 笠原夏妃</p>		
G-necクラブ	<p>第22回 ボランティア・スピリット・アワード ボランティアスピリット賞 アースデイ in 桐生2018 ほかに県内外のイベントにてネイチャークラフト体験教室10回</p>		
そ の 他	<p>「群馬県高校対抗税金クイズ大会」出場 「税に関する高校生の作文」沼田税務署長賞 萩原大貴 「沼田警察署SNS被害防止講習会クイズ大会」優勝 星野雄亮 「私たちの愛するまちのためのドローンプロジェクト」第一位 朝倉早也輝ほか 「群馬銀行環境財団教育賞」奨励賞</p>		